もっと最適に。
もっと快適を。

【2019年度～2023年度】

中期経営計画

Next Evolution 2023

富士古河E&C株式会社

目次

① 中期経営計画『POWER UP E&C 2018』総括 ---------- P 3

② 新中期経営計画『Next Evolution 2023』 ---------- P 8

③ 参考資料 ---------- P26

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

【2016年度～2018年度】

中期経営計画

『POWER UP E&C 2018』

総括

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

決算概要（対中期経営計画比較）

中期経営計画の目標数値は達成（営業利益 対2015年度 33%増）

（単位：億円）

	2015年度実績	2018年度		対2015年度増減	対中期経営計画増減
		中期経営計画	実績		
受注高	802	880	876	74	△3
売上高	774	820	879	104	59
営業利益	36.9	41.0	49.1	12.1	8.1
営業利益率	4.8%	5.0%	5.5%	0.7Pt	0.5Pt
配当金	40円	60円	70円	30円	10円

※「配当金」は株式併合（2018年10月1日付／5：1）を考慮した金額を記載しております。

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

セグメント別 売上高・営業利益（対中期経営計画比較）

E&C もっと最適に。もっと快適を。

プラント事業、電設・建築事業は中期経営計画目標値を達成
海外事業は売上高、営業利益ともに未達

（単位：億円）

	売上高					営業利益				
	2015年度実績	2018年度計画	2018年度実績	対2015年度増減	対計画増減	2015年度実績	2018年度計画	2018年度実績	対2015年度増減	対計画増減
プラント事業	203	215	269	66	54	17.2	20.0	27.9	10.6	7.9
空調設備事業	207	219	237	30	18	14.9	15.0	14.8	△0.0	△0.1
電設・建築事業	247	210	223	△24	13	18.5	17.0	21.1	2.5	4.1
電力・情報流通事業	45	68	60	14	△7	1.1	2.0	3.2	2.0	1.2
海外事業	51	90	72	20	△17	1.4	3.0	0.2	△1.2	△2.8
その他	18	18	16	△1	△1	3.6	3.0	4.9	1.2	1.9
全社共通	–	–	–	–	–	△20.1	△19.0	△23.2	△3.0	△4.2
計	774	820	879	104	59	36.9	41.0	49.1	12.1	8.1

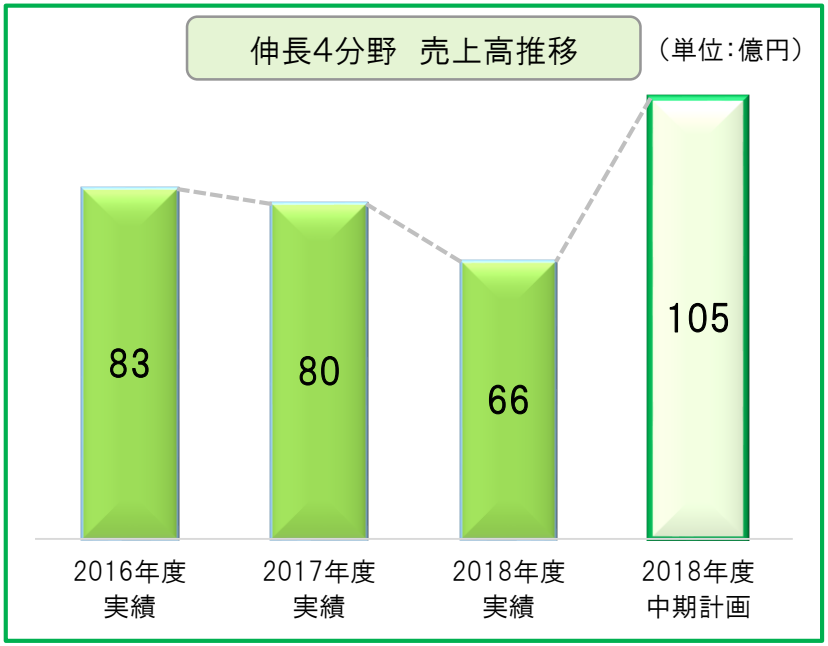
（注）営業利益の全社共通は、主に全社共通にかかる費用です

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

注力分野の総括

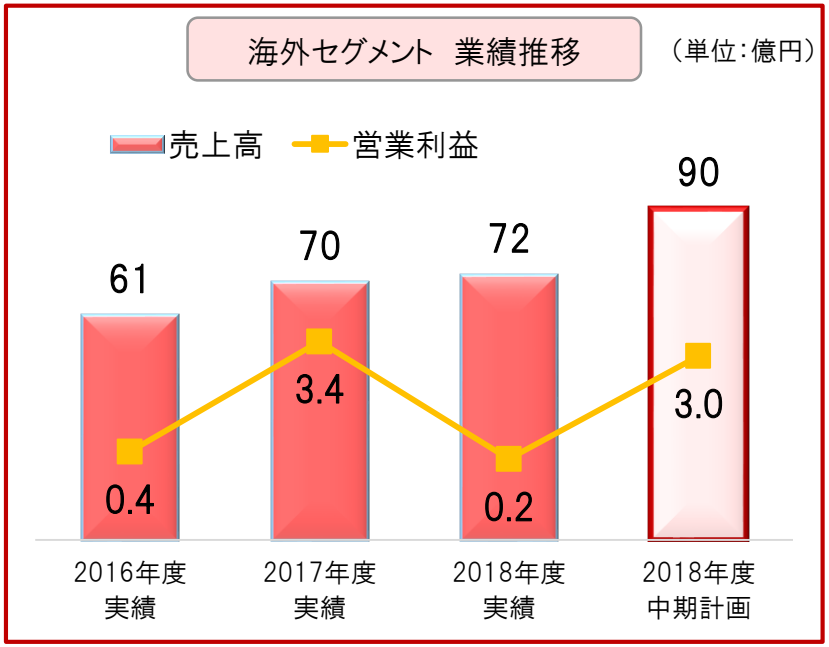
既存分野が大幅に伸長したことなどにより、一部施策が未消化となった

成長市場への戦略的な取組み
（伸長分野：複合、医薬・医療、民間発電、ITFE）



○ 大型医療施設案件の受注に成功
△ 既存分野の受注拡大により対応人員が不足
△ 複合の伸長不足

海外事業の基盤強化



○ カンボジアの大型商業施設の竣工
△ 事業基盤の確立と海外人材の育成が課題
△ 事業戦略の展開不足

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

連結貸借対照表（対2015年度比較）

E&C もっと最適に。もっと快適を。

自己資本比率が大きく高まり経営基盤の強化が進んだ（29.6% ⇒ 38.3%）

（単位：億円）

	2016年3月31日	2019年3月31日
流動資産	420	509
現金預金	35	38
売上債権	330	413
未成工事支出金	24	24
その他	30	33
固定資産	55	63
有形固定資産	18	26
無形固定資産	8	6
投資その他の資産	27	30
資産合計	476	572

	2016年3月31日	2019年3月31日
流動負債	281	306
仕入債務	216	237
短期借入金	0	0
未成工事受入金	15	15
その他	48	53
固定負債	46	39
負債合計	327	346
純資産		
株主資本	150	224
その他の包括利益累計額	△9	△5
非支配株主持分	7	7
純資産合計	148	226
負債純資産合計	476	572

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

【2019年度～2023年度】

新中期経営計画

『Next Evolution 2023』

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

2018年度～2023年度　国内市場環境予測

国内建設投資は中期的に緩やかに減少する見込み
慢性的な人手不足により業界全体として働き方改革への取組みが求められる

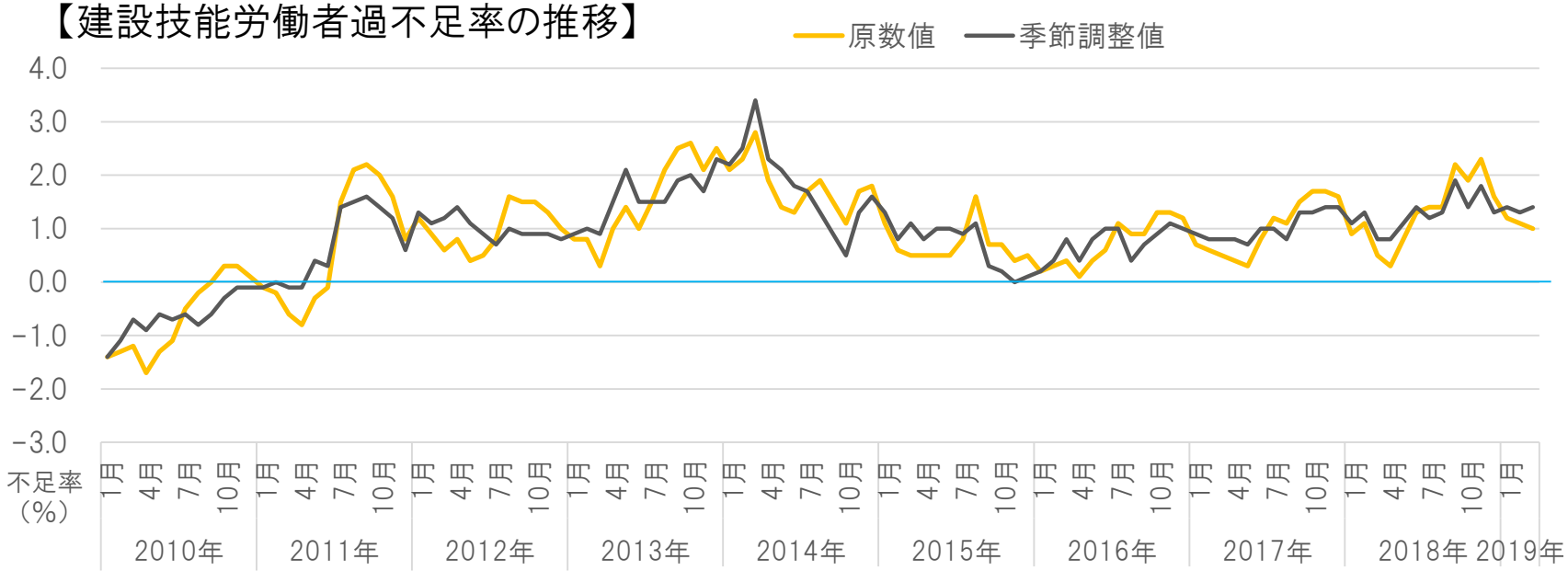
【国内経済見通し】

（前期比　%）

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
実質GDP	0.6%	0.6%	0.5%	0.8%	1.1%	1.3%
民間設備投資	3.5%	2.1%	1.2%	0.0%	1.8%	2.6%
公共投資	▲3.8%	3.0%	2.0%	1.8%	▲0.1%	1.9%

※2019年3月8日 みずほ総合研究所 『2018・2019・2020年度 内外経済見通し』
2018年12月18日 みずほフィナンシャルグループ 『内外経済・日本産業の中期見通し』より作成

【建設技能労働者過不足率の推移】



※2019年4月25日 国土交通省 『建設労働需給調査結果』より作成

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

海外の市場環境予測【現地法人　各国の動向】

もっと最適に。
もっと快適を。

5ヵ年平均で概ね5～7%成長の見込み⇒地政学リスクの高まりにより不透明感は継続

【タ　イ】 5ヵ年平均成長率 3.5%
- ▹GDP成長率　2023年度3.6%
- ▹輸出の増大により今後も成長が見込まれる
- ▹人件費上昇により直接投資が周辺国にシフトの可能性

【ミャンマー】 5ヵ年平均成長率 6.7%
- ▹GDP成長率　2023年度6.9%
- ▹海外からの直接投資の増加が期待
- ▹政情の不安定化がリスク要因

【ベトナム】 5ヵ年平均成長率 6.5%
- ▹GDP成長率　2023年度6.5%
- ▹外資系企業進出を背景に堅調な推移が見込まれる
- ▹インフラ整備事業にPPP導入を推進

【インドネシア】 5ヵ年平均成長率 5.2%
- ▹GDP成長率　2023年度5.3%
- ▹個人消費主導で堅調に推移する見込み
- ▹労働者の教育・訓練、インフラ投資不足が課題

【マレーシア】 5ヵ年平均成長率 4.8%
- ▹GDP成長率　2023年度4.8%
- ▹好調な民需・輸出が牽引し成長を維持する見込み
- ▹経済構造の更なる高度化が課題

【カンボジア】 5ヵ年平均成長率 6.6%
- ▹GDP成長率　2023年度6.2%
- ▹海外から直接投資流入が続き堅調に推移する予想
- ▹中国経済が悪化した場合打撃を受ける可能性高い

※みずほ総合研究所『内外経済の中期見通し』(2018.6.28) ／ IMF『World Economic Outlook Databases』(2019年4月版)
ジェトロ『2018年の経済見通し(世界54カ国・地域』・『年次レポート』・『インドネシア経済の現状と今後の展望』(2017.6.13)
三菱UFJリサーチ＆コンサルティング『タイ経済の現状と今後の展望』(2018.6.26) ／ 『ベトナム経済の現状と今後の展望』(2018.3.16)
『マレーシア経済の現状と今後の展望』(2017.9.7) ／ 『カンボジア経済の現状と今後の展望』(2018.5.23)
国際通貨研究所『ミャンマー経済の動向』(2018.5.7) より作成

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

中期経営計画(2019年度～2023年度)における基本方針

もっと最適に。
もっと快適を。

Next Evolution 2023

～ 新たなステージに向けた革新への挑戦 ～

中長期的な環境の変化に柔軟に対応できる経営基盤の強化

持続的成長と企業価値の向上

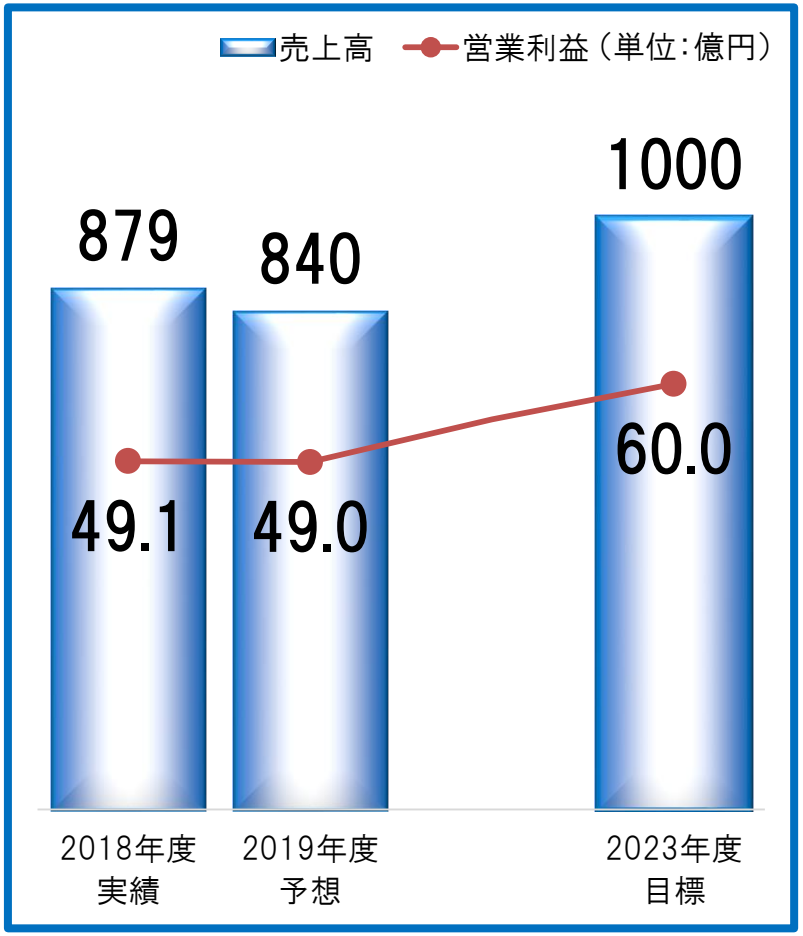
(1) 成長市場を見据えた保有技術力の融合による他社との差別化

(2) 事業環境の変化に対応した戦略的投資による経営基盤の強化と収益力の向上

(3) 事業基盤の再構築による海外事業の強化

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

2023年度 中期経営計画数値目標



売　上　高	1,000億円
海外売上高比率	12%
営業利益	60億円
営業利益率	6%
親会社株主に帰属する当期純利益	38億円
自己資本比率	50%以上
配当性向	30%以上

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

セグメント区分の変更

もっと最適に。
もっと快適を。

保有技術の融合と事業戦略の明確化を目的としてセグメントを変更

- プラント事業
- 電設・建築事業
- 電力・情報流通事業
- 海外事業
- 空調設備事業
- その他

→

電気設備工事業

プラント工事業
- 社会インフラ
- 送電
- 産業システム
- 海外
- 発電設備

内線・建築工事業
- 内線（電気）
- 情報通信
- 建築・土木
- 海外

空調設備工事業
- 産業プロセス
- 海外
- 一般空調・衛生

その他

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

セグメント別 業績目標

もっと最適に。
もっと快適を。

プラント工事業及び空調設備工事業を中心として物量と収益を伸ばしていく

（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	2018年度実績	2023年度目標	増減	2018年度実績	2023年度目標	増減
プラント工事業	350	405	54	21.3	29.0	7.7
内線・建築工事業	279	285	5	17.9	17.0	△0.9
電気設備工事業	630	690	60	39.2	46.0	6.8
空調設備工事業	231	300	68	5.2	12.0	6.8
その他	17	10	△7	4.8	2.0	△2.8
計	879	1,000	121	49.1	60.0	10.9

※共通経費を各事業へ配賦して表記しております。

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

1. 保有技術力の融合による他社との差別化

もっと最適に。
もっと快適を。

事業戦略の明確化とターゲットの絞り込みによる複合事業の拡大

現在の複合事業

2018年度
売上高実績
20億円

内線＋空調

医療施設

空調＋建築

民間企業物流倉庫

既存の複合
事業拡大

内線＋空調の拡大

- 工場、商業施設
- 一般ビル

強化する複合分野

プラント ＋ 内線

IDCの内線電気
工事

プラント ＋ 内線 ＋ 送電

搬送設備関連への
対応強化

建築 ＋ 内線 ＋ 空調

中小規模の建築一括
への対応

2023年度
売上高目標
80億円

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

2. 戦略的投資による経営基盤強化と収益力向上

（1）投資計画

事業環境の変化に対応し、持続的成長に向けた投資

【5年総額　100億円規模】

働き方改革	人材の確保	事業拡大
➢人員増強、処遇改善 ➢新業務フロー構築(分業加速) ➢省力化・効率化推進	➢ブランド力の強化 ➢広告宣伝活動の展開 ➢採用活動の強化、変革	➢M＆Aの継続 ➢協力会社体制の強化 ➢新規事業への取り組み

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

2. 戦略的投資による経営基盤強化と収益力向上

(2) 働き方改革に向けた適正人員の確保

	適正人員の確保に向けた施策			
	採用活動の強化	若手・高齢社員活用	女性社員活躍推進	離職者低減
取組み	▶新卒採用の増員 ▶中途採用の増員 ▶広報強化 ▶外国人の採用検討	▶階層別教育の充実 ▶代理人の育成早期化 ▶65歳以上の再雇用 ▶処遇の見直し	▶技術職の継続採用 ▶現場労働環境整備 ▶在宅勤務制度検討	▶雇用形態の多様化 ▶4週8休 早期実現

日建連残業削減目標 ・・・ 2024年度 720時間／4週8休

当社 マイルストーン	当社目標(残業時間)	当社目標(休日)
2019年度	840時間以内/年 80時間以内/月	4週6休
2020年度～	840時間以内/年 70時間以内/月平均	4週8休
2022年度～	720時間以内/年 60時間以内/月平均	4週8休(全現場)

- 適正人員の確保
- 新業務フロー構築(分業加速)
- 社員の意識改革(レベルアップ)
- 受注前の負荷状況の把握徹底
- 顧客との認識共有

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

2. 戦略的投資による経営基盤強化と収益力向上

（3）施工体制の確保

安全協力会との関係を強化し需要に応える

- 計画発注の促進による発注率の向上
- 安全協力会の増強　275社⇒300社

安全協力会への発注率引き上げ	安全協力会の事業継続に向けた支援
➢ システム導入による計画発注 ➢ 地域戦略に対応した地元業者の開拓 ➢ 協力会社の複数工種対応(多能工化)	➢ 事業継続懸念企業への支援 ➢ 技能労働者の教育支援 ➢ 人材採用の支援

協力会とともに働き方改革を実現

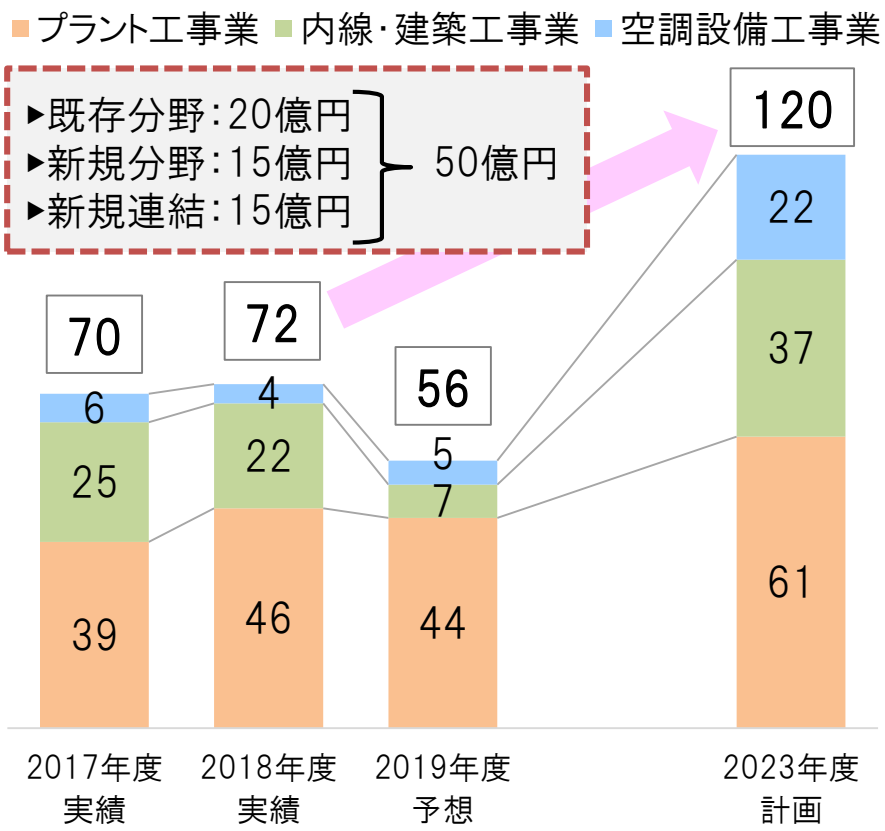
© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

3. 海外事業の強化

(1) 海外売上高

2023年度 海外売上高120億円を目標に事業を推進する

工種別売上高　（単位：億円）



大型商業施設

ゴミ処理プラント

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

3. 海外事業の強化

（2）海外事業の拡大に向けた取組み

事業戦略の強化による事業規模の拡大

① 主要分野であるプラント工事業の更なる伸長
② 工場・商業施設案件の複合受注（電気＋空調）
③ M&Aにより取得した企業の連結化とシナジー創出
④ グループ企業との連携強化（変電・発電設備）

海外事業の推進体制の再構築

① 海外事業の営業・施工機能を各本部へ移管
全部門をあげて海外事業へ取組む組織体制へ
② 海外本部は支援業務に特化

「海外センター」による事業基盤の強化

① 海外に適応した人材の育成
② 現地スタッフへの教育による工事品質向上
③ 海外現地法人の管理体制強化

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

セグメント戦略

(1) 電気設備工事業(プラント工事業)

事業環境

- 老朽化による設備更新需要の継続(社会インフラ、民間プラント、架空送電線など)
- 自然災害に伴う自家発電設備の需要増
- 国土強靭化計画による社会インフラ工事に伴う土砂搬送の需要増

事業戦略

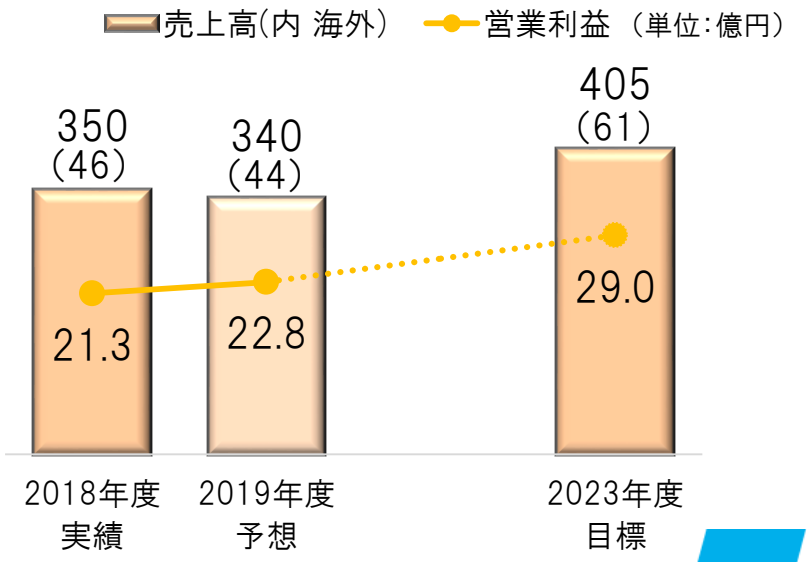
【国内】

- 産業分野の受変電設備更新
- 搬送設備分野の一括請負
- 水処理施設の機械工事拡大
- 中小自家発電設備のEPCへの取り組み
- 架空送電分野の施工能力拡充

【海外】

- 産業システム分野の拡大
- 発電設備分野の拡大

目標数値(売上高・営業利益)



© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

セグメント戦略

(2) 電気設備工事業(内線・建築工事業)

事業環境

- 都市再開発及びリノベーション需要の継続
- 防災・減災・BCP等の投資の継続
- CATV事業者の次世代投資の継続

事業戦略

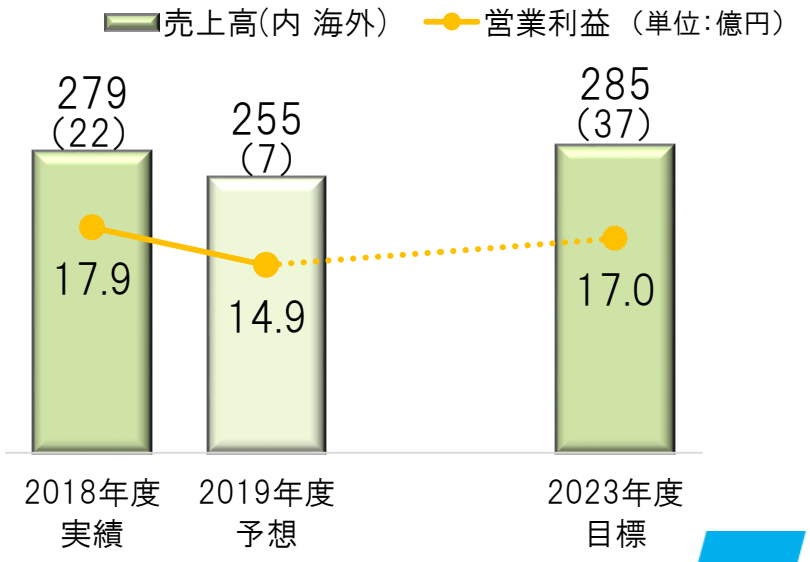
【国内】

- 建築・電気・設備の一括請負の拡大
- グループ企業の設備投資取込み
- 耐震補強等、BCP対応力の強化
- CATV向け設備投資のシェア拡大

【海外】

- 工場、商業施設の内線分野の拡大
- 太陽光発電設備分野の拡大

目標数値(売上高・営業利益)



© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

セグメント戦略

(3) 空調設備工事業

事業環境

- 高齢化加速による医療・福祉分野伸長
- AI・IoT市場の活況による電子精密分野伸長
- 省エネルギー・リニューアル需要の継続

事業戦略

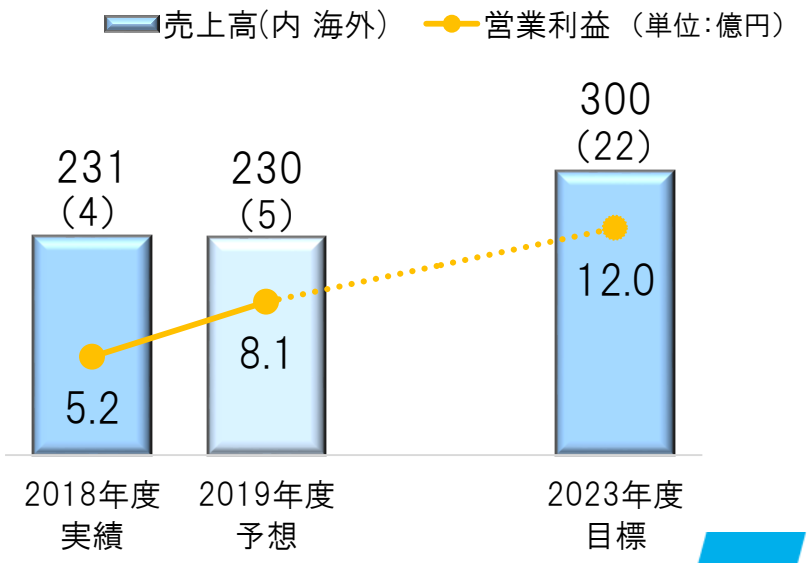
【国内】

- 成長市場に向けた取組み強化
  (医薬・医療、電子精密、IDC)
- リニューアル事業の拡大
- グループ企業の設備投資取込み

【海外】

- 省エネ、リニューアル分野の拡大
- 複合をベースにした事業拡大(工場、商業施設)

目標数値 (売上高・営業利益)



© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

2023年度 貸借対照表予測

投資の実行により資産が増加（自己資本比率 38.3% ⇒ 50.3%）

（単位：億円）

	2019年3月31日実績	2024年3月31日計画
流動資産	509	621
固定資産	63	86
資産合計	572	707

	2019年3月31日実績	2024年3月31日計画
流動負債	306	308
固定負債	39	30
負債　計	346	338
純資産	226	369
負債純資産合計	572	707

自己資本比率	38.3%	50.3%
ROE	14.9%	11.2%

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

配当政策

配当に関する基本方針

当社は、グループの収益力向上により株主資本の充実を図り、経営基盤を強化し、
将来の成長に必要な投資等のための内部留保を確保するとともに、
株主の皆様に利益還元を図ることを基本方針としております。
この基本方針のもと、剰余金の配当につきましては、安定的かつ継続的に実施することとし、
今後の成長に向けた投資計画および経営環境等を総合的に勘案し、配当金額を決定いたします。

配当金の推移

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 実績	2023年度 目標
一株当たり配当金	12円	12円	70円	―
連結配当性向	18.2%	18.9%	20.4%	30%以上

（注）2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

参 考 資 料

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

会社概要

（2019年3月31日現在）

社名	富士古河E＆C株式会社
創立	1923年10月1日
本社所在地	〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア西館
資本金	1，970百万円（発行済株式総数　9，026，561株）
株主数	1，884名
連結子会社数	15社（国内9社、海外6社）
従業員数(連結)	1，501名

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

グループ会社

富士古河E＆C株式会社

国　内	海　外
株式会社三興社	富士古河E＆C(タイ)社
北辰電設株式会社	富士古河E＆C(ベトナム)社
株式会社エフ･コムテック	富士古河E＆C(マレーシア)社
創和工業株式会社	富士古河E＆C(カンボジア)社
富士ファーマナイト株式会社	富士古河E＆C(ミャンマー)社
株式会社富士工事	富士古河E＆C(インドネシア)社
富士古河コスモスエナジー合同会社	＜非連結＞
株式会社カンキョウ	フジハヤインターナショナル社(フィリピン)
篠原電機工業株式会社	JMP Engineering ＆ Construction社(マレーシア)

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

基本理念・経営方針

E&C もっと最適に。もっと快適を。

基本理念

富士古河E＆Cグループは総合設備企業として
お客様の満足を通じて社会に貢献します。

経営方針

- 豊富な技術と積み上げてきたノウハウをベースに、エンジニアリングから設計施工、アフターサービスに至るライフサイクルを通じて、お客様に安心と信頼をお届けします。
- 自然との調和を図るとともに、国際社会の一員として国内外の法令遵守と慣習その他の社会規範を尊重します。
- 品質・安全を第一とする企業活動を通じて適正な利益確保を行い、その成果を株主、社員ならびに社会と分かち合います。
- 社員を大切にし、働く意欲と情熱に溢れた社会に誇れる人材を育成します。

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

セグメント別の事業内容

電気設備工事業 （プラント工事業）	社会インフラ事業 産業システム事業 発電設備事業 送電事業
電気設備工事業 （内線・建築工事業）	内線事業 建築・土木事業 情報通信事業
空調設備工事業	産業プロセス空調設備事業 一般空調・衛生設備事業
その他	物品販売 補修・修理等

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

注 意 事 項

- ✓ 本資料および本説明会に含まれる予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。
その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

- ✓ 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社により何らかの行動を勧誘するものではありません。

- ✓ 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.

富士古河E&C株式会社

本資料に関するお問合せ先

富士古河E＆C株式会社

経営企画本部 経営企画統括部 経営企画部

TEL:044-548-4370　FAX:044-548-4510

© 2019 Fuji Furukawa Engineering & Construction Co.Ltd.